

# 叙勲・褒章

## おめでとうございます

さまざまな分野で活躍し、社会貢献した人を表彰する「叙勲」および「褒章」が、内閣府から発表され、叙勲では百田利彦さん（黒坂）が3月に瑞宝双光章を、褒章では西村和行さん（根雨）が5月に藍綬褒章をそれぞれ受章されました。

### 【瑞宝双光章】（教育功労）

元公立小学校長 ひゃくた としひこ  
**百田 利彦** さん(黒坂)

百田さんは、昭和23年に日野郡日野村立日野小学校（当時）の教師として第一歩を踏み出しました。昭和63年4月からは日南町立阿毘縁小学校長として、特色ある学校づくりに取り組まれました。特に、地域との連携を大切にし、「地域の子は地域で育てる」という意識のもと、開かれた学校づくり推進されました。

退職後の平成7年からは、日野町公民館長として幅広い年齢層に対応した活動を続け、住民の参加意欲・学習意欲の向上に尽力されました。そのほか、町スポーツ振興審議会委員、社会教育委員、公民館運営審議会委員などを歴任し、豊かな知識を生かした青少年の育成指導や、生涯学習活動の普及などに積極的に取り組まれました。そうした長年の功績が認められました。



### 【藍綬褒章】（消防功績）

日野町消防団副団長 にしむら かずゆき  
**西村 和行** さん(根雨)



西村さんは、昭和58年4月に日野町消防団に入団。以来、第1分団副分団長や指揮分団分団長を歴任し、平成28年4月からは、日野町副団長に就任。全国消防ポンプ操法大会へ出場した経験を生かし、操法指導にあたるなど消防団組織の維持・向上に取り組まれています。また、平成12年の鳥取県西部地震では、地震発生時から住民の安全確保や町全体の復旧にかかわるさまざまな活動に従事。そのほかにも多くの災害や火災現場で町民の生命・財産を守る活動を指揮・参加されてきました。そうした長年の功績が認められました。



## 黒坂の玄関口に新たな“顔”がお披露目

### 黒坂鏡山城下を知ろうう会が駅前観光案内看板を設置



▲地域住民の前で案内看板の魅力を語る久城さん(左) ◀同会がおすすめする散策コースの紹介も。新たな魅力を見つけてみよう



5月29日、JR黒坂駅前で、黒坂鏡山城下を知ろう会(久城博会長)による駅前観光案内看板除幕式が行われました。これは、かつての城下町をしのばせる黒坂のまちなみや歴史を、観光客や地域住民に再認識してもらおうと、町地域活

動支援交付金を活用して製作・設置されたものです。看板には、鏡山城址や鳥取藩の重臣福田家の墓所(通称「お墓さん」)をはじめ、まちなかに点在する7つの神社仏閣などの観光名所が、江戸時代後期に描かれた城下町図とともに紹

介されています。除幕式では、久城会長が「駅前には観光客が必ずと言っていいほど訪れる場所。そこに観光案内看板が設置できてよかったです。これから黒坂のまちや歴史、文化をもっと知ってもらいたい機会にしていきたい」とあいさつ。生田進教育長も、「黒坂はたくさんさんの自然や歴史、文化が息づくまち。観光客だけでなく、地域住民の皆さんもその魅力を見直すきっかけにしてほしい」と期待を寄せました。

## 「みどりの愛護」功労者表彰

# 自然豊かなふるさとをいつまでも――。

地域の緑化・緑地の保全などについて功績のあった団体や個人などを表彰する、「みどりの愛護功労者表彰」で、下黒坂地域保全会が国土交通大臣表彰に、黒坂小学校 PTA が県知事表彰にそれぞれ選ばれ、5月18日、鳥取市で開かれた第30回全国みどりの愛護のつどいの中で表彰されました。

### 《国土交通大臣表彰》

## 下黒坂地域保全会 (代表：山本武史)



鳥取県西部地震で崩れた斜面を活用した緑化活動を平成22年度から開始。約1万3千株の芝桜を植え、毎年住民総出で草取りや株の補植などの手入れを行ってきました。下黒坂の芝桜は、「巨大なハートの芝桜」として今も多くの人に親しまれています。

### 《鳥取県都市緑化功労者知事表彰》

## 黒坂小学校 PTA



黒坂小学校 PTA では、平成20年度から緑の募金還元金による植樹を毎年秋に行っています。いくつになっても、親子で植えたミツバツツジやサクラに、そしてふるさとに愛着を持ってもらいたい。次世代への思いが今も脈々と受け継がれています。